

世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2018.5.5 No. 322 東京・羽村平和委員会発行



横田基地所属の輸送機14機全て 新型C-130J-30へ交替完了



横田基地所属の輸送機 14 機は、旧型の C-130H から新型の C-130J-30 に交替が進められてきました。4 月 21 日に 12 号機が到着、27 日に 13、14 号機が到着して、新型 14 機が全て横田基地に配備されました。

【新型の情報】* 乗員／兵員 新型:3名／128名(空挺92名)、旧型:5名／92名(空挺64名)。

* 全長 新型:34.69m、旧型 29.3m。5.39 m も長い。

* 全幅 39.7m 新旧同じ。* 全高 11.9m 新旧同じ。

* プロペラ数 新型:6枚、旧型:4枚。

* 最大速度 新型:約660km/h、旧型:589km/h。

* 行動半径 新型:3,147km、旧型:1,944km。

米軍は、新型 2 機で旧型 3 機分の働きをしていますが、14 機の C-130J の働きは、C-130H に換算すると 21 機分の働きです。大変な機能強化です。

5 月 4 日、C-130J は 11 機で編隊飛行訓練しました。

C-130Jは特殊作戦任務も持っている！

「横田の C-130J、戦域輸送から特殊作戦まで多様な作戦に即応態勢」と、米空軍横田基地 HP は記しています。

「横田はインド・アジア・太平洋地域で唯一の前方基地空中輸送中隊である。彼らは C-130 の乗員に戦域航空輸送、特殊作戦、航空医療後送、本国帰還者輸送及び人道支援・災害救援任務の実行を提供している。」

として、横田の-130 部隊が特殊作戦任務を持っていることを明確にしています。2017 年 4 月 13 日には、横田基地で、韓国・烏山基地の第 51 作戦支援中隊を含む空軍特殊部隊が横田の C-130 から夜間降下をしたことを明らかにしています。

このパラシュート降下は高高度落下・低高度開傘 (HALO)、しかも夜間という最高に危険な降下でした。



米軍横田基地配備のC-130J-30

2017/3/6 1号機 YJ 14-5807 374AW

2017/3/29 2号機 YJ 15-5810 374OG

2017/5/5 3号機 YJ 15-5813 36AS

2017/8/10 4号機 YJ 15-5817

2017/9/20 5号機 YJ 08-8604 ★

2017/10/25 6号機 YJ 08-3177 ▲

2017/11/1 7号機 YJ 06-4633

2017/12/21 8号機 YJ 16-5833 5AF

2017/12/21 9号機 YJ 08-8605 ★

2018/1/10 10号機 YJ 08-8692

2018/2/22 11号機 YJ 16-5838

2018/4./21 12号機 YJ 16-5843

2018/4./27 13号機 YJ 06-8610 ★

2018/4./27 14号機 YJ 16-5841

AW: 第374空輸航空団司令官指定機

OG: 第374作戦軍(運用軍)司令官指定機

5AF: 第5空軍司令官指定機

★独・ラムシュタイン米空軍基地から、



▲は米・ダイエス基地からのようです。

CV-22オスプレイは横田基地で、離着陸・人員降下・物料投下・ (No. 322 裏面)



編隊飛行・夜間飛行訓練をするな！

左の図は、横田基地と米エドワーズ空軍基地の比較です。エドワーズ空軍基地の面積は、1,218 km²で、7.136 km²キロの横田基地の 170 倍。東京・多摩地域（黄緑色）の面積、1,164 km²をも上回ります。また、陸軍特殊作戦司令等があり、パラシュート降下訓練が行われている

フォート・ブラッグ基地に付属する演習場の面積は約 578 km²で、横田基地の約 81 倍に及ぶ山林原野です。横田基地はどうでしょう。基地周辺は住宅密集地です。訓練をやってはいけません。

資料 CV-22オスプレイの低空飛行訓練 最低飛行高度 (数値は全て約です)

* FLIR(赤外線暗視装置)、NVG (暗視ゴーグル)、TV(地形追従システム 出典：米空軍の CV-22 作戦手順書

モード	全般	山岳地帯	山岳地帯以外	* FLIR無	夜間飛行 NVG,TF無
ヘリ・転換モード	地上30m以上	30m以上	地上15m以上	150m以上	最高点+150m以上
航空機モード	地上90m以上	60m以上	地上30m以上	30m以上	最高点+150m以上

米空軍三沢基地のF-16戦闘機の「超低空飛行」が酷すぎる！動画に波紋

米空軍三沢基地の F-16 戦闘機が、東北地方を「超低空飛行」した動画が「ユーチューブ」に掲載されました。とにかく酷い！機体を右に左に傾けながら山間部を走り抜け、住宅地も超低空で走り抜けています。同基地の第 35 戦闘航空団は 4 月 28 日までに、所属機による訓練映像だと確認し「いくつかの地点で日本国内での最低基準 150 メートルより低く飛行した」と認めました。同時に「全てのパイロットに規制を周知し遵守させる」とのコメントを出しました。

戦闘機の前パイロットで航空自衛隊の OB (元空将・永岩俊道氏) は「50 ~ 100 メートルくらいの高度を飛んでいると思います。」「基本的に許されない飛行」と述べています。

米ジョージア州でC-130輸送機が墜落 9人死亡 米軍機事故相次ぐ

5 月 2 日午前 11 時 30 分 (日本時間 3 日午前 0 時 30 分) ごろ、米南部ジョージア州サバンナの



の空港近くの幹線道路の交差点に墜落、9 人死亡しました。事故機はプエルトリコ空軍州兵に所属する C-130 輸送機。

C-130 については昨年 7 月、ミシシッピ州で海兵隊の KC-130 空中給油機が畑に墜落し、16 人が死亡した事故も起こっています。今回の事故、他人事ではありません。

米軍機の事故は 4 月だけでも、●ラスベガスで F-16 戦闘機が墜落し、操縦士 1 人が死亡。●ケンタッキー州のフォートキャンベル陸軍基地で、攻撃ヘリ AH-64E が訓練飛行中墜落、兵士 2 人が死亡。●カリフォルニア州で訓練中の海兵隊の CH-53E スーパースタリオンが墜落し、4 人が死亡、等々です。3 月以前も、事故多発です。